
自律的生産スケジューリング研究会 2023年度活動計画

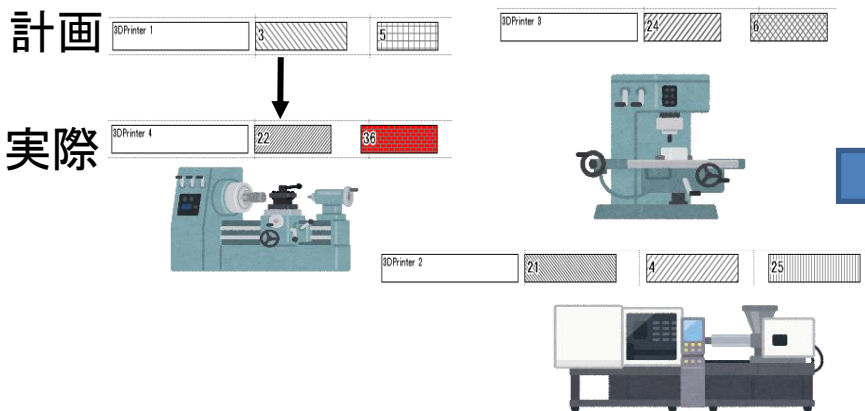
委員長：國領 大介（神戸大学）

自律的生産スケジューリング研究会 活動計画(1)

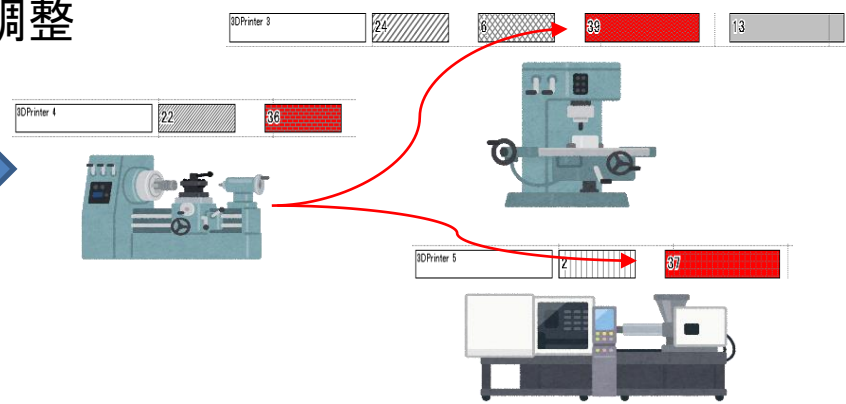
前年度までの活動に引き続き、以下の項目について検討する。

- (1) 前年度に検討した対象モデル・問題を構築し、議論するための環境の整備
- (2) 構築した環境において、自律的スケジューリングによる影響評価の実施
 - ・自律的にスケジュール変更するタイミングの検討
 - ・加工機械における遅延発生時
 - ・加工機械の故障時
 - ・スケジュール変更方法の検討
 - ・遅延・故障が発生した機械のみ変更
 - ・影響のある機械も含めて変更
 - ・(初期)スケジューリングに用いる最適化手法の検討・導入

各機械で計画と現実のずれを検出



得られた情報を基に各機械でスケジュールを調整



自律的生産スケジューリング研究会 活動計画(2)

- 活動日程(自律的生産スケジューリング手法の議論)
5月9日, 7月, 9月, 11月, 1月, 3月
対面(MSTC会議室)・オンラインを併用したハイブリッド形式にて実施予定
- スケジューリングや数理最適化が専門の研究者やソフトウェアベンダーの技術者などの外部講師を招いたセミナーの開催も検討